



収納部上部に敷設されている多数の冷却水配管及び電線等が保守・点検時の通行を困難にしていた。そこで、全周にわたり安全通路を設置するとともに通行の障害となる配管・同支持台を改裝し安全性の向上を図った。

排水処理施設棟の排水入口側に自動分析装置を設けることによって実験排水への有害化学物質混入の有無を常時監視し、異常があれば直ちに排水の送水を停止し、被害を最小限に留めるシステムを構築した。



仮設テント倉庫では大型及び大容量の一般産業廃棄物を収納するとともに、金属くず・発泡スチロール・蛍光灯・乾電池等資源リサイクルの種類・量を拡大するための分別・保管場所として使用している。

本システムは、化学試料準備室で使用する試薬類の使用動向を把握するためにH10年度に作成され、蓄積リング棟化学試料準備室に入力端末を設置し運用してきた。H12年度は、利用実験施設（106号室、107号室）へ同システムを導入した。

